

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第8回金谷区地域協議会

2 報告（公開・非公開の別）

（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（答申）（公開）

3 議題（公開・非公開の別）

（1）金谷区の地域活性化について（公開）

4 開催日時

令和4年10月20日（木） 午後6時から午後7時5分まで

5 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

6 傍聴人の数

0人

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：村田敏昭（会長）、川住健作（副会長）、山井広子（副会長）

石川美恵子、大瀧幸治、加藤國治、神崎 淑、小林雅史、高橋敏光

高橋 誠、高宮宏一、土屋博幸、平良木美佐江、益田侑季

（欠席1人）

・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、難波主任

9 発言の内容

【難波主任】

・長委員を除く14人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【村田会長】

・会議の開会を宣言

- ・ 会議録の確認：平良木委員と土屋委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・ 配布資料の確認
- ・ 次第に基づき、議題の確認

【村田会長】

- ・ 「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3 報告（1）諮問事項 新市建設計画の変更について（答申） —

【村田会長】

次に次第3 報告（1）「諮問事項 新市建設計画の変更について（答申）」に入る。

事務局より説明を求める。

【難波主任】

- ・ 資料No.1により説明

【村田会長】

- ・ 事務局の説明に質疑を求めるがなし。

以上で次第3 報告（1）「諮問事項 新市建設計画の変更について（答申）」を終了する。

— 次第4 議題（1）金谷区の地域活性化について —

【村田会長】

次に次第4 議題（1）「金谷区の地域活性化について」に入る。

事務局より説明を求める。

【難波主任】

- ・ 参考資料、当日配布資料No.1・2により説明

【村田会長】

基本的には金谷区としての地域活性化の方向性を決めて取り組んでいくことになろうかと思う。

事務局の説明にあったように、11月2日までに当日配布資料No.2を事務局に提出してほしい。本日の配布物にある、牧区や名立区の地域協議会が作成した「地域活性化の方向性」を参考に、期日までに記入の上、提出してほしい。

前回の会議でも協議したが、提出された意見を基に、「地域活性化の方向性」を取りまとめたいと考えている。

この進め方について、意見等を求める。

【神崎委員】

金谷区の地域協議会委員になって3年目になるため、このようなことを言うのは恥ずかしいが、自分が住んでいるところであれば、「どのような魅力があり」「このようなところをPRしていけばよい」ということは何となく分かるが、金谷区は広いので、「金谷区全体で何か」と問われると勉強不足であり、分からない。

できることであれば、こういうものを考える前に、委員はいろいろなところから集まっていると思うので、各委員が住んでいるところのことを、委員自身が思う「このような素晴らしいものがある」ということを、箇条書き等でもよいので挙げていただくと非常にありがたい。

【村田会長】

神崎委員の発言にあったように、私も金谷地区全体でいうと、何が活性化に結びつくものか具体的には言うことができない。

まずは、各委員が自分の住んでいるところの「良いところ」や「魅力」等について、当日配布資料No.2に記入して提出いただければと思う。それを全体につなげていくということではよいと思っている。

全体のことが分からなければできない、ということでもないのかと思うが、どうか。

【神崎委員】

提出する内容については、金谷区全体のことを考えたことでもよいということではよいのか。

むしろ、その方が自分の知っている範囲で、「こういうところを活性化したい」といったことを書くことができると思う。

多分、全体の意見となると、既に話が出ている「地区公民館の新設」や「ヨードル金谷」といった話になってしまうと思う。もちろん、それもすごくよい発想だとは思いますが、それでは金谷区の本当の良いものを何か見落としているのではないかと、すごく気になる。

村田会長の発言にあったような記入の仕方が、私も良いと思っている。

【難波主任】

神崎委員の発言を聞いて、思ったことを補足する。

各委員が最も詳しいことは、自分が住んでいる町内や身近な地域のことだと思う。

例えば、そういったものを構成要素に上げていき、それを集約した上で、全体的な「個性」や「何をしていくのか」といったところにつなげていくこともよいと思う。

自分の地域のことについて、いろいろな意見を出していただき、それをどのようにつなげていくのか議論をしていってもよいと思う。

【村田会長】

他に意見等あるか。

【小林委員】

参考として配布された、名立区と牧区の地域協議会の資料は、地域協議会だけの検討結果なのか。それとも、地域を含めて、オーソライズされたものなのか教えてほしい。

【難波主任】

現時点で、「地域活性化の方向性が完成した」との報告は受けているが、その過程については情報提供を受けていない。そのため、申し訳ないが、この場では回答することができない。

【小林委員】

できることであれば確認してほしい。

資料を見ると、まだ大きなテーマで止まっている気がする。そのため、さらに深

掘りしていくのだと思うが、その前段階においても地域協議会のみではなく、地域の各種団体等との意見交換がなされていなければおかしいような気もする。

今回、各委員が当日配布資料No.2を提出して意見を集約し、さらにそれに関わる地域のいろいろな人たちと意見交換をした上で、完成版に至る、といったイメージをもっている。

【難波主任】

小林委員の発言のとおり、地域協議会限りで作成されたものなのか、意見交換を経てできたものなのか、ということも非常に重要だと思う。

今後、他の区からも完成したものがあがってくると思うため、どのような過程でできたものなのかを確認し、必要に応じて情報提供したいと思う。

【村田会長】

小林委員の発言にあったように、「地域活性化の方向性」を作るにあたって、地域の各種団体と事前に意見交換し、共通の方向性を見出すこともやり方の一つかと思う。

アンケートを取りまとめるために、不足している部分について、町内会長会等のいろいろな団体へ発展していってもよいのかと思う。

ただ、令和4年度中に作成しなければならない。

【難波主任】

令和4年度中に着手することをお願いしている。

【村田会長】

着手すればよいのか。決めなくてもよいのか。

【難波主任】

お願いしていることは、令和4年度中、来年3月までに着手するというものであり、完成については特に期限を設けていないため、来年度になっても構わない。

【村田会長】

他に意見等あるか。

【土屋委員】

意見というか、確認である。

地域活動支援事業の中では、言葉でいうと「歴史的な」という気持ちがあるが、ただそこに「お寺」や「仏像」といった宗教的なことは駄目だということがあったかと思う。

「地域活性化の方向性」の意見に関しては、宗教的なことも含めてよいのかどうか、確認したい。

【難波主任】

資料6を参照してほしい。

「4 『地域活性化の方向性』の作成後の取扱い」という項目があり、その中の(3)に「地域協議会による作成とするため、市全体の方針や考え方と異なる方向性(構成要素含む)の作成も可能ですが、そのような内容とする場合は、市の一体性の確保や公益性との間で整合を図ることができないことから、その方向性に基づく取組を市が行うことが困難です」と記載されているため、直接的に宗教が絡んでしまうものは地域活動支援事業では、基本的には「補助できない」ということになっていたため、あまり馴染まないと思う。

【土屋委員】

名立区の「地域活性化の方向性」を見ると、「歴史文化の継承」や「平和を願う活動の継続・発展」と記載されている。

それは宗教的なことではないということなのか、この意味的なものはどんなものなのか。分からなければ、分からなくてもよい。

【難波主任】

個人的に、記載されている「歴史文化の継承」「平和を願う活動の継続・発展」ということだけでは、宗教的なことは感じられない。

市としても、歴史文化については担当課があり、平和を願う活動に関しても共生まちづくり課が担当しているため、市の方策とは合致しているのかと考えている。

【平良木委員】

形式的なことで質問である。

当日配布資料No.2は、空いているところに意見や考えを記入するということか。「という個性」は残すということか。

牧区と名立区の地域活性化の方向性を見ると、「いかして」何々する、というかたちは同じだと思うが、「という個性」はない。これを残したかたちで考えればよいのか。

【難波主任】

その辺りは柔軟に、前段の文言に合うようなかたちで考えてほしい。必ず「個性」という言葉を使わなければいけないということではない。そのことも皆さんで協議していただければと思う。

【村田会長】

意見いただいたことを基に、期日までに事務局に提出してほしい。今、気づいたことや質問をしておき、さらに肉付けしていただければよいと思う。

【高橋誠委員】

事例を見ると、議員が公約にするような内容に受け取れる。

「地域活性化の方向性」ということで記入し、その後でもっと細かいことを検討するのか確認したい。

と言うのは、金谷区全体で目指そうとすると、確かに、いくつも該当するわけである。例えば、「四季折々に合わせたイベントの開催」は、金谷山公園がメインになると思う。

また、「子どもから高齢者まで、生きがいを持って暮らす」といったことを書いて、次の段階として「高齢者が生きがいを持って暮らすにはどうするのか」というところまで検討するのか。

【難波主任】

先ほど作成目的について説明した。今の段階では、市と地域協議会が認識の共有を図ると共に、市の取組の企画の参考とするということになる。

その先のことに関しては、参考とした上で、必要に応じて、各種施策に上げていく場合もあると考えているが、「具体的にどうする」ということまで、現時点では決まっていない。

【高橋誠委員】

そうすると、あくまでも漠然とした内容でよいのか。

【難波主任】

協議していく中で、漠然としたものしか出ないということであれば、それはそれで仕方ないと考えている。

だが、できるだけそうならないよう、具体的なアイデアも検討してほしいと思う。

【村田会長】

いずれにせよ、各委員が考えたアイデアを基に、皆で協議・検討していかなければいけないと思っている。

【難波主任】

先ほどの説明から漏れてしまったが、当日配布資料No.2に関しては、今後に向けて協議を深めたいと考えているため、記入して期日までに事務局に提出願う。

可能な範囲での記入で結構である。空欄があっても構わない。また、キーワード等でも結構である。

様式のデータがほしいという委員は事務局にメールで連絡していただければ、様式を返信する。

【村田会長】

これを一つのたたき台として集約し、協議・検討を重ねていくと考えてよいと思う。

非常に漠然とした考え・思いを書かざるを得ないのかと思っている。

当日配布資料No.1に記載されている、各委員の意見も参考しながら、自身で取りまとめてほしい。

前回の会議で、当日配布資料No.1のAからIまでの委員の提案について、質疑を受けたが、改めて意見や質問などあるか。

・発言なし

【難波主任】

構成要素についても、協議していただきたい。

【村田会長】

私自身もよく理解ができていないため、申し訳ない。

当日配布資料No.1の1ページ目に記載されている、「今後の方向性（案）」に「金

谷山周辺の活性化について、「自主的審議事項とするか検討する」として、自主的審議事項とした場合のできることや考えられることが記載されている。

最終的には、令和6年度予算に向けて地域独自の予算への提案を検討するということになる。

「今後の方向性（案）」について、意見を求める。

【滝澤センター長】

事務局より補足である。

同時に二つのことを説明したため、混乱しているかと思う。これまで地域活性化に結びつくアイデアということで、いろいろな意見をいただいた。

例えば、「産直市場」といった意見もあった。そのため、新たに自主的審議事項にあげて市へ意見書を提出する・地域独自の予算につなげる等、そういった検討ができると思っている。本日は進む方向を議論いただきたいと思っていたことが一点目である。

順番が逆になったが、当日配布資料No.2で、「地域活性化の方向性」も新たに作ってほしいとの説明をした。これについては、11月2日を期限として、事務局に提出することが決定したため、これは決まったとおりに、今後、回数を重ねてまとめていきたいと思っている。

順番が前後するが、これまでの「地域活性化」の議論の中で出た意見を、これで終わらせてしまうのか、それとも自主的審議等にしつつ、予算の提案等に向けていくのか、意思決定を願いたいということが一点ある。

【山井副会長】

当日配布資料No.1のここに出ているアイデアはどうするのか、ということである。これはこれとするのか、それともここに出ていることを、活性化の方向性のアイデアとして書いてもよいのか、ということを確認したい。

【滝澤センター長】

本日、お願いしたかったことは、まず、活性化の方向性の着手、秋になったが、これからスタートを切っていただきたいということで、今、了解をいただいたと思っている。ここに入ってくるキーワードや、地域のお宝・特性等については、当日

配布資料No.1に記載されている、これまでに委員より出たアイデアがそのまま入ることもあると思っている。それはそのような整理をしていただいて、もちろん構わない。

当日配布資料No.1の議論してきたものの終わり方というか、活性化の方向性につなげることで終了としてよいのか。それとも、せっかくの意見であるため、それとは別に自主的審議等をする中で、市へ意見書や独自予算への提案につなげるようなことも見据えて、並行しての議論ができると思っている。

どのような方向に行くのが良いのか、意見をいただきながら、ある程度の方向を決めていただきたいと思っている。

【小林委員】

ひとまず、活性化の方向性である。

同じことを書く委員もいると思う。また違った視点の委員もいると思う。

そのため、ひとまず集約をして、これで方向性の議論とさらにこの中から、独自の意見書等に、分離できるものをまた皆で改めて話し合った上で、そこで分ける必要があれば分けるというかたちで、ひとまず、一本化していったほうが、分かりやすいような気がする。

【村田会長】

それでよいか。

【神崎委員】

二つを検討・協議していかなければならない。11月2日の資料を基に、そこで二つに分ける・自主的審議事項にする、という協議も検討すると思うが、時間的にはよいのか。

【滝澤センター長】

意見書や地域独自の予算となると、令和5年9月が目途となるため、そこまでの期間の中で取組めればよいかと思う。

【村田会長】

そのようなかたちで取り組んでいってよいと思うが、よいか。

【神崎委員】

よく分かっていないが、当日配布資料No.1の中で出ているアイデアの中で緊急性があるものがあれば、早めに議論したほうがよいと思う。私では緊急性があるか否か分からないが。

もし、緊急性があるものがあれば、アイデアを言ってもらい、並行して議論することもありかと思う。

【村田会長】

今回の会議で、緊急性も含めて判断するというので、理解願う。

以上で次第4 議題（1）「金谷区の地域活性化について」を終了する。

— 次第5 その他 —

【村田会長】

次に次第5「その他」に入る。

8月28日に行われた大貫4町内合同避難訓練では、町内会を対象とした見学会を実施した。

見学会のアンケート結果を配布したため、各自参考にしてほしい。

また、自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」の小林委員をリーダーとした検討チームでは、これまでの経験を踏まえて今後の取組について協議すると聞いている。

他の委員にも情報共有する必要があると考えるので、小林委員より報告願う。

【小林委員】

- ・資料No.2により報告

【村田会長】

- ・ただ今の報告について、質疑を求めるがなし。

次に、今後の協議会日程について、正副会長より提案である。

当協議会では、原則として毎月第4水曜日に会議を開催しているが、12月は多様な年末と重なり、また取り急ぎ進めなければならない議題も無いため、12月の協議会は休会としてはどうかと考えている。

- ・ 12月の協議会は休会としてよいかを確認し、了承を得る。
以上で次第5「その他」を終了する。

— 次第6 事務連絡 —

【村田会長】

次に次第6「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・ 次回協議会：11月22日（火）午後6時から 福祉交流プラザ
- ・ 次々回協議会：令和5年1月25日（水）午後6時から 福祉交流プラザ
- ・ 当日配布資料：牧区、名立区地域協議会の地域活性化の方向性
中郷区、八千浦区、三郷区地域協議会の意見書
金谷区地域協議会だより第51号
フォーラム「創造的過疎」による持続可能な地域づくり チラシ

【村田会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。